

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和7年度・第1回）議事概要

日時 令和7年(2025年)4月9日(水) 14:00~16:00

場所 宝塚市役所第二庁舎 1 階 会議室 A・B

出席者

＜まちづくり協議会＞

まちづくり協議会名	参加者名・役職	参加方法	
		対面	オンライン
仁川まちづくり協議会	綿 昭人会長	●	△
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会	川島 昭会長	●	△
宝塚市良元地区まちづくり協議会	平田 武二会長	●	△
宝塚市光明地域まちづくり協議会	小林 敏明会長	●	△
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会	加藤 富三会長	●	△
宝塚市西山まちづくり協議会	久保田 洋一会長	●	△
まちづくり協議会コミュニティ末広	溝本 直人副代表	●	△
宝塚第一小学校区まちづくり協議会	山本 敏晴会長	●	△
逆瀬台小学校区まちづくり協議会	石谷 清明会長	●	△
宝塚市すみれが丘小学校区まちづくり協議会	島津 早苗代表	●	△
宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 育会長	●	△
壳布小学校区まちづくり協議会	赤阪 俊一会長	●	△
小浜小学校区まちづくり協議会	藤本 真砂子会長	●	△
宝塚市美座地域まちづくり協議会	糸瀬 豊光代表	●	△
安倉地区まちづくり協議会	岡本 康夫会長	●	△
宝塚市長尾地区まちづくり協議会	阪上 良彦会長	●	△
中山台コミュニティ	松下 義弘会長	●	△
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会	奥野 廣明政策室長	●	△
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会	前田 幸夫会長	●	△
宝塚市西谷地区まちづくり協議会	二井 久和会長	●	△

＜その他＞

市民交流部 藤田部長

市民協働推進課 新城次長、久住係長他

障礙福祉課 柴田課長、佐藤係長（福祉サービス担当）

総合防災課 伊津次長、吉岡係長、出水係長、岩崎職員

異動職員　総務部長、岡田係長

宝塚 NPO センター 平岩氏

宝塚市社会福祉協議会 地域担当支援課 太田係長

傍聴者 なし

議事録概要（要旨）

1. 市長挨拶

2. 人事異動に伴う職員の配置

3. 宝塚市まちづくり協議会代表者会交流会（令和6年度・第1回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへ公開することが承認された。

4. 地域連携推進会議について（障碍福祉課）

障碍福祉課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。質疑応答の内容は以下のとおり。

- ア 関係するまちづくり協議会と関係しないまちづくり協議会はわかるのか。
- イ （障碍福祉課）施設の住所別の一覧表がある。ほとんどの小学校区に施設があると思う。
- ウ 『地域連携推進会議』という名称は非常に広い分野を指すように聞こえるため、（名称に）分野をつけるべきではないか。『地域連携推進会議』と聞いても、何をするか分からぬ。
- エ （障碍福祉課）名称は国で決められたものである。グループホームごとにどのような分野で取り組んでいくかは異なる。障碍福祉だけに限ったものではなく、防災でもあり得る。
- オ 市民協働推進課も関わっていくべきではないか。
- カ （市民協働推進課）地域連携推進会議の内容は、グループホーム等が、地域の人から意見をもらってより良い施設にしていくもので、所管が障碍福祉課となる。各施設が何をテーマにするか、どういった課題があるか、どのようにやっていくのかを地域の方にお声掛けして話し合い、障碍福祉課がサポートしていくのだと思う。市民協働推進課は情報の周知やこれから何か連携することがあればやっていく。
- キ 約10年前に、当地域内でグループホームを作る計画があり、2回ほど計画の説明を行ったが、説明が不十分で、近隣の反対で断念したことがある。まずは、グループホームについて近隣住民の理解を得る方策が必要ではないか。また、地域の福祉ネットワークの会議のうちの1回を地域連携推進会議に充てるのはどうか。
- ク グループホームはどこにあるのかわかりにくくい。
- ケ （障碍福祉課）外観が一軒家のため、気が付かれることもある。
- コ ななくさ育成園は障がい者支援施設であり、施設から、地域に施設や利用者について理解していただき、地域と施設・利用者とのつながりづくりのため、地域連携推進会議に参加してほしいと打診があった。
- サ 当まち協は、中山ちどりと、定期的に話し合いと見学会を行っている。昨年は、祭りを共同で開催したり、施設の方が使用しているバスに、地域住民も利用させてもらったりと、様々な連携が進んでいる。これらの取り組みはいいのか。
- シ （障碍福祉課）もちろん進めてほしい。ただ、障碍者支援施設と地域の連携は進んでいくが、グループホームとの連携はもっと進めていきたい。

- ス グループホームの概念は、高齢者対象のグループホームは入らないのか。
- セ (障碍福祉課) 障碍者対象のグループホームのみが対象である。
- ソ 障碍者支援施設やグループホームの理解を地域の方に広めていくって、つながっていくということであれば、『地域連携推進会議』という名称はぼやけてくるのではないか。我々の認識では、グループホームは高齢者施設であるため、的を絞らないと理解いただけないと思う。加えて、障碍の『碍』について、法律上では「障害」であるが、宝塚市では「障碍」と表記し、2種類あることに違和感がある。法律に基づいた表記に合わせるべきではないか。
- タ (障碍福祉課) この場で変更するとは言えないが、参考にする。
- チ やはり、(この名称だと) 障碍者のグループホームが対象だと理解されにくいのではないか。
- ツ (障碍福祉課) グループホームそれぞれで呼び方を変えられるため、会議をしていくうえで自由に決めていければと思う。
- テ グループホームの一覧はどこかに載っているのか。
- ト (障碍福祉課) ホームページに載っている。

5. ひょうご安全の日推進事業 令和7年度 助成事業の手引きの配布 (総合防災課)

総合防災課より、新年度の職員配置について報告があったのち、標記について、配布資料に基づいて説明があった。質疑応答の内容は以下のとおり。

- ア 推進事業に応募する場合は、以前は消防本部に直接尋ねたが、最初は総合防災窓口に尋ねたらいいのか。
- イ (総合防災課) 消防に相談する事業とそうでない事業がある。詳細の冊子は総合防災課にもあるため、相談先が不明の場合は総合防災課の窓口に来ていただくか、電話でお問い合わせいただいても良い。

6. 令和7年度(2025年度)の新座長・副座長の選任等(案)

座長より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。

新座長・副座長の選任について、前任者がいたほうが、スムーズに進行できるため、座長・副座長のうち1人が副座長として残留する案があった。しかし、今まで通りでいいという意見が多いため、賛否は取らず、座長・副座長で話し合い、例年通りに選任することになった。

7. 地域活動について

(1) 「魅力的・特徴的なまち協活動(多様な世代の参加につながった事例、負担軽減・事務効率化を図った事例等)」についての紹介・質疑応答(仁川)

【仁川】

(発表)

代表者より、仁川まちづくり協議会が行っている行事として、とんど焼、弁天池の清掃、観月のタベについて発表があった。

(質疑応答)

- ア 弁天池の清掃は、主催者はどなたか。
- イ (仁川) 鹿塩財産区が、市から池の管理を委託されて行っている。
- ウ 中山台では、4つの自治会がそれぞれとんど焼をやっている。焼き芋が好評。

8. 宝塚NPOセンターからのお知らせ

(1) 市民活動促進支援事業の受託について（事例紹介）

宝塚NPOセンターの平岩氏から、標記について、配布資料に基づいて説明があった。質疑応答の内容は以下のとおり。

- ア SNS講座等の依頼は無料なのか。
- イ (宝塚NPOセンター) まちづくり協議会を運営されている方対象であれば基本無料である。地域の方も参加するのであれば、寄付をいただきたいと考えている。
- ウ ボランティア派遣について、広報誌発行といった実務的なボランティアも派遣できるのか。
- エ コミュニティ末広では、就労経験がない人が経験を積むためのボランティアの派遣を依頼しているが、実務的なボランティアを派遣できるかはわからない。
- オ (宝塚NPOセンター) ノウハウが必要なので、探すことはできるが人材が見つかるかわからない。イベントの準備や清掃のボランティアのほうが派遣しやすい。
- カ まちづくり協議会の広報担当にノウハウを教えることは可能だが、広報誌作成するための人材を日常的に派遣することは難しいということか。
- キ (宝塚NPOセンター) そのような認識で合っている。
- ク アピアビアガーデンのボランティアの場合も、無料で行っているのか。
- ケ コミュニティ末広主催で毎年アピア3を借りて行っている。ボランティアの機会を作るために、アピア3のほうで仕事を用意してもらって、無償で派遣してもらっている。
- コ とんど焼のボランティアについても、相談できるのか。
- サ NPOセンターに相談していただけたと思う。お寺の境内の掃除と花まつり事前準備のボランティアは、コロナ前は老人会がやっていたが、コロナ禍で難しくなったため、ボランティア派遣を始めた。

(2) 情報セキュリティに関する冊子の配布

宝塚NPOセンターの平岩氏及び市民協働推進課から、標記について、配布資料に基づいて説明があった。令和7年3月に著作権に関する部分が改定されている。質疑応答の内容は以下のとおり。

- ア フリーイラストサイトは各地域で団体に共有したらしいのか。
- イ (市民協働推進課) ポータルサイトでも公表するため、参考にして、広報の充実を図っていただければ。
- ウ 講座の生徒数は何人でも問題ないか。
- エ (宝塚NPOセンター) 人数に制限はない。しかし、先ほどお伝えしたとおり、まちづ

くり協議会の方なら無料で、地域の方にも講習を行う場合は寄付をいただきたい。

9. 地域ごとのまちづくり計画

(1) 「進捗シート」及び「対話シート」の状況報告

市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。

宝塚小学校区まちづくり協議会の対話シートが共有され、該当まちづくり協議会から報告があった。

【宝小】

宝塚歌劇場前交差点の渋滞の緩和と歴史博物館について対話を行った。

交差点の渋滞緩和に関しては、交差点の問題とJRも踏切の問題がある。交差点の問題は、道路交通課や道路整備課とも話し合い、道路拡幅やほかの交差点の交通の改善、橋の設置という案が出た。JRの踏切の問題は、提案した案のほとんどが予算の関係で難しいが、交差点にある歩道橋の使用を促す看板を設置することはできる可能性がある。また、宝塚駅の再開発化に向けて、線路の地下化を考えていく。

歴史博物館に関しては、教育委員会は、建物を建てるとは難しいという意見で、デジタルミュージアム活用してほしいと提案されたが、デジタルミュージアムをいかに使ってもらうかまで考えられておらず、コンテンツも断片的で、時系列がわからない。

対話を経て、宝塚歌劇場前交差点の渋滞緩和及び歴史的博物館の設置を、令和8年度からの後期計画に組み込んでいく。

市民協働推進課より、以下(2)～(4)について、再度、周知を行った。

(2) (※再周知)「対話」「進捗管理」の仕組みに関するアンケートご協力のお願い

(3) (※再周知) 令和6年度進捗確認の実施について

(4) (※再周知) 総会での周知(令和6年度進捗確認、後期計画の策定)について

10. 市民協働推進課からのお知らせ

(1) 宝塚市きずなづくり推進事業補助金 活動事業の募集について

市民協働推進課より、標記について、配布資料に基づき説明があった。

(2) 下水道管路施設の緊急点検について

市民協働推進課より、標記について、配布資料に基づき説明があった。質疑応答の内容は以下のとおり。

ア 宝塚は山と水脈があり、地下水脈に気をつけなくてはいけない。当地域でも様々な災害を聞いているが、市全体ではどうなのか。災害のデータあれば公開してほしい。

イ (市民協働推進課) 担当課に確認の上、回答させていただく。

(3) (※再周知) 令和7年度(2025年度)まちづくり協議会代表者の個人情報の提供について(お願い)

市民協働推進課より、標記について、再周知があった。

- (4) (※再周知) 令和 6 年度 (2024 年度) まちづくり協議会補助金の実績報告の提出
(4/18 (金) メ)

市民協働推進課より、標記について、再周知があった。

11. 社会福祉協議会からのお知らせ

社会福祉協議会より、新年度の職員配置について報告があったのち、(1)～(2)について、配布資料に基づき説明があった。

- (1) ふれあいきいきサロン活動紹介冊子について
(2) ふれあいきいきサロンアンケート調査報告について

12. その他

- (1) 宝塚小学校区まちづくり協議会より

宝塚市立中央公民館で開催されるコンサートの案内があった。

- (2) 協働の取組推進担当次長の任命について

市民協働推進課より、現在、検討を進めており、決まり次第報告する旨、周知があった。また、市役所の組織図も完成次第提供する旨、周知があった。

13. 今後の日程

市民協働推進課より、配布資料に基づき、今後の開催予定について周知があった。